

## No.730 欧州の「低排出モビリティに関する戦略」

2016年7月25日

株式会社ユニバーサルエネルギー研究所  
技術顧問 堀 雅夫

2016年7月20日、欧州委員会（EC）が欧州経済のあらゆる部門において低炭素排出への移?を加速させる措置を提案した。この提案は、EU加盟国に対し将来に備えて欧州の競争力を保つための指針を示したものの、としている。



EUは、2015年末のパリで開催されたCOP21（気候変動枠組み条約第21回締約国会議）において、EU全体で2030年までに1990年比40%排出削減の目標を提出している。今回の提案は、EUの気候変動への貢献として、運輸・建物・農業・廃棄物・土地利用・森林部門における2021年から2030年までの間の各EU加盟国の拘束力のある年間温室効果ガス排出目標を定めたもの。

また、欧州委員会は同日上の提案の一環として「低排出モビリティに関する戦略」(A European Strategy for low-emission mobility) を発表した。

欧州の規制では、低排出車は50gCO<sub>2</sub>/km以下で、これにはプラグインハイブリッド車(PHEV、条件に合わない車種を除く)と電気自動車(BEV)と燃料電池車(FCV)が該当し、この中のBEVとFCVがゼロ排出車に該当。

今回の「低排出モビリティに関する戦略」のポイントは、

- デジタル技術・スマートな価格設定・低排出モードへの転換推進などを最大限に利用して、輸送システムの効率を向上させる
- バイオ燃料・再生可能電力・再エネ合成燃料などの低排出代替燃料の利用促進と、輸送電動化への障害を排除する
- ゼロ排出車への移行、エンジンの更なる改良は必要だが、低排出・ゼロ排出への転換を加速させる

これらのニュースの詳細は下記の資料に掲載されている。

■ 欧州委員会発表

[http://europa.eu/rapid/press-release\\_IP-16-2545\\_en.htm?locale=en](http://europa.eu/rapid/press-release_IP-16-2545_en.htm?locale=en)

■ 駐日欧州連合代表部発表

<http://www.euinjapan.jp/resources/news-from-the-eu/20160720/100810/>

■ 欧州委員会のプレス発表

[http://ec.europa.eu/transport/themes/strategies/news/2016-07-20-decarbonisation\\_en.htm](http://ec.europa.eu/transport/themes/strategies/news/2016-07-20-decarbonisation_en.htm)

(この中に、提案本文、Factsheet、関連資料へのリンクがある)

ところで、今年に入って欧・米・中国における PHEV と BEV の販売台数が増加しており、石油価格の低下にも拘らず電動化への転換が加速している。日本の場合は、エコカー販売に占める HEV の割合が大きく、また現在の電力の CO2 排出係数から HEV による排出削減効果大きい。欧・米・中の場合は、電動化政策や排出規制から今後もこれらの地域における電動化への動きは加速されると考える。

トヨタは昨年の「トヨタ環境チャレンジ 2050」で 2050 年の新車の CO2 排出ゼロへのチャレンジを表明しているが、最近海外では電動化 2030 年目標の論調も出てきており、世界的には PHEV・BEV による電動化加速が想定される。

以上